

## ★7月の山旅緊急大募集！10月以降の山旅も★

### ◆金華山と牡鹿半島周遊の山旅報告◆

今年の新コース・金華山のツアーは2本実施され、いずれも皆さん大満足の山旅となりました。

今回の山旅予定は、まず1日目に石巻駅から旭山自然公園に直行、頂上の園地でランチタイム。その後、牡鹿半島



△御番所公園から金華山

の中央を走るコバルトラインのスカイライン・ドライブで鮎川へというプラン。途中、大六天展望所から牡鹿半島で唯一山歩きを楽しめる大六天山を往復するというのが、この日のハイライト。そして翌朝、海上タクシーで金華山に渡り、黄金山神社から正面コースから金華山頂上を目指し、天柱石を往復して南尾根コースの二の御殿経由で周遊するという1泊2日のベストプランを考えていたのでした。

私はこうしたプランを再確認するために、ツアー前日に牡鹿半島の主なスポットの下見をすることにしました。まず最初に訪れた旭山は周辺随一の展望地で、気持ちの良い草原の頂上には東屋もあり、ランチタイムには最高の場所でした。ただしここは石巻から牡鹿半島とは反対側で、往復1時間ほどかかる。また駐車場からも往復30分ほど歩き、車を止めてピクニックランチという訳にはいかない。それに大六天山を歩いてから御番所公園まで行くことを考えると、時間的にどうかということも頭に入れておかねば。最終日程は後で考えることにして、次の目的地、女川へ。

### ●3.11大震災の震源地に一番近い金華山と牡鹿半島の被災地を巡る

三陸一帯は史上最悪ともいえるあの震災、津波の被害を最も受けた地域です。その震源地は金華山沖ということから、金華山の島全体、そして石巻、女川、鮎川の町の被害は甚大で、7年を経た今なお復興と呼べる状態ではありません。特に海沿いの町では防波堤や土地の嵩上げ工事が延々と続き、かつての集落は依然と更地のままという荒れ果てた風景が目立ちます。無用とも思える工事に膨大な費用と時間を費やし、人々の生活は二の次かとも思える政策にはいささかうんざりするところです。一日も早く地元の方々の生活が戻ることを願うばかりです。

そうした被害の大きかった町や集落の中であって、女川の復興状況は目を見張るものがありました。女川の駅は温泉センター併設の新社舎となり、海沿いの「はまテラス」という商店街はまるでアウトレット・モールのような近代的な店が立ち並び通りとなっていたのには驚きました。私はこれまで山旅の途中で宮古から釜石、大船渡、気仙沼、そして南三陸町に至る三陸沿岸の被災地を巡ってきましたが、これほどまで素晴らしい大規模な復興施設を目にしたことはありませんでした。観光案内所の人曰く「このように復興が進んだのは女川だけで、皆さんがこれから行く鮎川は一向に復興が進まず大変な状況なので、是非その違いを感じてみて下さい。」とのことでした。

その言葉通り、その後訪れた鮎川の町の状況は悲惨なものでした。港付近は未だにさら地が殆どで、金華山行きの桟橋にターミナルや土産店やレストランの建物は一切なく、町にはただ一つのコンビニとプレハブの小さな商店横丁があるのみ。私は女川のあの活気ある通りを見た後だけに、その違いに愕然としたものでした。一体何故こうまで違うのか。やはり女川は原発のお陰？で復興予算が他よりも沢山あるとでもいうのだろうか。そんなことがあってはならない。原発のお陰で潤うなどとはとんでもない話で、そのために脱原発を提唱できないというのはとても寂しいことだ。三陸の復興は皆平等であるべきだとつくづく思うのですね。

ともあれ、今回の下見で、1日目の昼食は旭山でとののは止め、女川の「はまテラス」の食堂で海鮮丼を食べてから大六天山へというベストプランが決定。その後、大六天山では三国神社から頂上を周遊する理想的なコースを見つけて、御番所公園からの金華山の景色を確認、半島の最先端にあるホテルニューさか井に到着、明日からいざ本番です。

### ●1本目のツアーは急遽日程変更、前後入れ替えて大成功

こうして準備万端で5月9日の朝、1時間ほど前に石巻駅で待機。今日は何とか天気は持ちそうだが、肝心の明日がそろそろ台風と梅雨前線の影響でどうなるか気になる。金華山への海上タクシーは小型のモーターボートなので、波が高いと結構になることもしばしば。私は海上タクシーに電話で見通しを聞いてみると、「今日は午後から波が高くなり、明日はほぼ雨風で欠航の可能性が大。金華山へ行きたいのなら今日しかないよ。」私は大至急再検討、グループが10:15に到着後、鮎川港に直行して、確実に金華山に行けるプランに急遽変更した。おそらく12:00に港を出発して12:30-4:00間での時間があれば頂上まで往復できるだろう。

ということで、皆が到着すると早速対策ミーティング。やはり何としても大目的の金華山には絶対に行きたいということで、即決定。女川での海鮮丼をあきらめて、コンビニで昼食購入、鮎川港に直行したのでした。

港に着くと、予想以上に波が高いので早めに戻らないと欠航になる可能性があるというので、大至急出航。朝から汽車と車に乗り継ぎ、いきなりの荒波の中、この先どうなることやらとぐったりの様子。金華山の港に着くと、海上タクシーが神社に連絡してくれたおかげで、神社からの迎えの車に乗れて、20分の急坂登りをカットすることができて皆大喜び。まずは黄金山神社にお参りをしてから、無理をせず行けるところまでということでいざ出航。

金華山は島の殆どが黄金山神社の私有地で、まさに島全体がご神域、神の山という感じなのです。神社の横から登山道に入ると、モミツガの巨木が混じる原生林は荘厳な雰囲気、モヤに包まれた上部の森から神秘的な霊気が降り注ぎ、他の山では体験できないような神秘的な世界に皆感動。リーダーのNさんは「たとえ頂上まで行かれなくとも、これで充分金華山の雰囲気は味わえた」とすでに大満足。ゆったり歩き大歓迎の他の3名の女性メンバーも同感で、無理をして頂上まで頑張るの船に間に合わないのはご免なので、3分の2ほどの水神社で昼食休憩、ここを終点として引き返ることに意見が一致。ただ一人超健脚のTさんご主人が代表で頂上まで行くことになりました。かつては健脚だった頃と比べて、大分年を重ねた今は、このように自分のレベルをわきまえ、決して無理をせず欲張らず、ゆとりを持って山歩きを楽しむという心構えが賢明なのですね。

皆が昼食中に頂上を往復したTさんが戻り、全員そろってゆとりを持って下山、2時半発のボートで無事鮎川港へ戻ることができました。この日は早めに戻れたので、鮎川唯一のコンビニで名物豆大福、金華サバ缶を買い、御番所公園へ。対岸の金華山は下半分しか見えなかったものの、周囲の見晴らしの良い気持ちの良い頂上園地の散歩に皆大満足、予定より早めにホテルニューさか井に着いてのんびりしたのでした。

翌朝は予想通りの荒れ模様の天気でも風も強そう、やはり昨日金華山に行けて良かったと皆納得、今日はゆっくり出発して女川で海鮮丼、そして雨が降らなければ大六天山を歩こうということに。まずは島中央のコバルトラインというスカイライン・ドライブで大六天駐車場を目指したところ、次第にガスは深まり、駐車場に着くころには冷たい雨となる。昨日は少ししか歩いていないので、私は雨でも大六天の神様が祀られている三国神社までは歩いたほうが良いと思っていました。しかしこうした状況での決断力が素早いグループリーダーのNさんは「雨に濡れるより女川で海鮮丼を食べたい。」と一言もらずと皆大賛成。憂鬱な気分が一瞬で晴れて、車中から登山口を眺めて、女川目指して出発と相成りました。

女川の「はまテラス」は日曜日とあって大盛況。何と大きな焼き牡蠣が6個で500円、丸ごと生ウニに皆さん大喜び、最高の昼食タイムでした。食事の後、テラスをぶらり散歩してから石巻へ。山を歩かなかったのでまだ時間がたっぷりあったので、私一旦は没にした旭山に行くことにしました。石巻から北へ車で20分ほどの郊外にある旭山は、森に囲まれた小山で、県立自然公園となっている景勝地。頂上手前の駐車場まで乗り入れができるので、頂上の園地まで15分ほど。結構な急坂なので、これがこの日唯一の山歩きとなり、景色の良い東屋のベンチテーブルで午後の一タイム。予定のコースを半分も歩いていないにもかかわらず、皆さん120%大満足の金華山ツアーでした。

## ●2本目のツアーは延期大作戦で全行程成就、地獄から天国へ

翌6月11日からの2本目のツアーは、台風の動きが怪しく、この2日間にピッタリとあたりそうな気配でした。2日前から天気予報と睨めっこ、海上タクシーに何度も問い合わせながら、対策を練り続ける。どう考えても最悪の見込みで、一番いいのは1日ずらすこと。不幸中の幸い？で次の山旅がなかったの、自分がもう1泊このホテルに滞在、雨の中待機さえすれば、台風一過全てうまくいこう。あとは参加4人グループの日程とホテルのが変更可能かどうかが問題だ。幸いいずれもツアーの2日前にOKとなり、その後海上タクシーに変更の連絡と12日に皆を送った後のホテルをキャンセル、新たに13日の宿をじゃらんで抑えて万事解決となった。あとはこの異例の大決断が思惑通り大成功となることを祈るばかり。

1本目のツアーを石巻で見送った後、翌11日は予報通り的大雨で、12日は回復に向かうが海のうねりは高く、船は欠航となるだろう。でもその日は内陸なので予定の大六天山など初日の行程は大丈夫そう。そして翌日本番の金華山は好天となりそうで、大変更大作戦大成功が期待できそう。今回ホテルニューさか井は、牡鹿半島の最先端の高台にある一軒宿で、目の前が金華山という素晴らしい立地に建っている。大津波の時も大きな被害も免れ、地震による損傷のためリニューアルしてより快適なホテルに生まれ変わっている。部屋でWiFiも繋がるので、一日大雨の中殆ど部屋に閉じこもり、疲れたら温泉に入り、雨の金華山を眺めながら久々にパソコン作業に集中できたのでした。

6月12日は予報に反して曇りがちの天気だが雨の見込みはなし。2本目のKさんグループを石巻駅で迎えると、皆さん大喜び、大感謝で女川に直行。早速、大きな焼き牡蠣と海鮮丼のランチタイムを楽しんだ後、大六天山に直行。ツアー前の下見で見つけた三国神社から頂上へのコースを周遊して、程よい初日の山歩きに皆さん大満足でホテルへ。これで翌日は朝から時間をたっぷり使ってじっくりと金華山を楽しめることだろう。

翌朝、海上タクシーから「まだ波が高いので様子を見た方がいい。」との連絡が入り、とりあえず8:30の出発時間に港で待機することに。そういえばネットの波予報によると、確かに明け方まで高浪で次第に東に移ってはいるが、いつごろから波が収まるか不安ではあった。

港に着くと、何とか大丈夫とのことで予定通り出発。多少波は高いが、ベテランの船長の腕を信じて安心してクルーズを楽しんで金華山港へ。気の利いた海上タクシーのスタッフがまた神社までの送迎車を頼んでくれたので皆大喜び。波はいったんこれから静かになるが、また午後には風が強まるというので、午後2時半までには戻るようにとの指示があり、あまり無理のないペース歩けるプランを考えながら、金華山頂上を目指した。

金華山のご神域の森に入ると、久しぶりの青空が広がり、変更作戦の甲斐があったと皆上機嫌。前回の終点・水神社様にずんだ饅頭をお供えして、いざ頂上へ。森を抜けて明るい尾根までは10分ほどで到着、そこからは見晴らしの良い尾根道が続いている。紺碧の太平洋と抜けるような青空、尾根上に立つブナの新緑も美しい。神社の私有地であるからか、登山道には芝生が敷き詰められ、階段もなくとても歩きやすい。いかにも普通の山とは雰囲気の違い、神の山にきたというワクワク感に満たされる。

ようやく辿り着いた頂上には立派なお社が建てられ、これが黄金山神社の奥宮・大海神社となっている。すぐ南側には石のベンチと丸いテーブルがあり、絶好のランチスポットになっている。こんなに気の利いたベンチテーブルが頂上直下にある所はめったにない。ここでゆっくりとランチタイムを取ることに決めしたが、まだ時間が早いので千畳敷当面向下した所にある「天柱石」まで行ってみることに。標識には10分と書いてあるが、結構な下りで、ゆったり歩きメンバーは5分ほど下った所で躊躇している。あまり無理は禁物と、皆にベンチの場所に戻ってもらい、カメラを預かり私一人で天柱石まで行ってみることにした。

そこから先はさらに急な階段の下りとなり、やはり皆を連れてこなくて良かったと思う。ネットの情報通り、天柱石は高さ20mもある立派な巨岩で、遥か昔はその倍の高さであったものが割れて半分になったらしい。今でも結構すごい、40mの時は屋久島の太忠岳に匹敵するほどのパワーを放つ天柱石であったに違いない。

私は「ぬりかべ」のような天柱石に背をもたれながら、しばしそのエネルギーをいただき皆の待っているベンチテーブルへ大汗をかいて戻ったのでした。心地よい陽だまりの中、完全に貸切状態の金華山頂上での至福のランチタイムをゆったりと過ごしたのでした。

帰りの水神社でお供えのずんだ饅頭を回収しようとしたところ、破かれ包みが残っているだけで中身はもぬけの殻。おそらく頂上手前で私を見ていたボスザルがかぎつけて食べたのでしょう。きっとそのサルは「こんな旨いもんは初めてだ、ありがたやアリガタヤ。」と神様に感謝していただいに違いない。とにかく金華山にはシカも多いがサルの群れもいる。どこかのようにたちの悪いサルはいない。唯一の迷惑は、登山道で用を足す者もいて、油断ならないということ。しかしそれもフンコロガシのようなコガネムシ？が沢山いて、糞の塊に潜り、バラして糞を持ち帰るのか、自然に掃除されるようだ。前回あった塊が今回は全くなかったのは、彼らの努力のお陰か、昨日までの大雨で完璧に清掃浄化されていたのでしょ。結論として、この神域では猿害はないようです。

ということで、今回の金華山ツアーも大成功、大満足にて終了、爽りの多い充実した山旅でした。これもひとえに大六天の神様、黄金山神社、大海神社などの山の神にお参りをしたお陰なのだといひたすら感謝です。

\*\*\*\*\*

今回の金華山ツアーでは、3.11震源地に一番近い地域を巡り、三陸の復興はまだまだという実感を新たにしました。今後日本の山旅を通して私たちができることはほんの僅かなことかもしれませんが、唯一できることは山旅で三陸各地の山を歩くことです。少人数ツアーゆえ、地元のホテルやお店に対する経済効果は微々たるものです。しかしはるばる遠方から地元の山を歩きに来られるグループがいるということ自体、地元の人にとって大きな励みとなるに違いありません。私はこれからもできるだけ多くの機会を作り、三陸の山を皆さんと共に歩きたいと思います。

今回初めての金華山ツアーは来年の実施する予定ですが、大好評につき、急遽11月にも企画しました。新緑紅葉共に異なる魅力があるので、まだの人は是非が参加下さい。三陸の山旅は以前からその1、その2があり、それぞれ独自の魅力あるコースです。復興応援も兼ねて、まだ歩いたことのないコースがあれば是非ともお勧めします。

### <三陸の山旅その3・三陸復興国立公園誕生…頑張ろう東北！>

#### ■金華山・神聖の森と牡鹿半島・大六天山 2日間

三陸の山旅その3・神の宿る島、手つかずの神域を歩く

…春の山旅大好評につき、紅葉の季節に臨時増発…

① 11月4日(日) ② 11月6日(火) 発 2日間 ★健脚度：2-3

●現地参加料金：¥43,000(石巻駅集合・解散)

☞三陸南部・牡鹿半島の先端から700mの海峡に隔てられた金華山。島全体が金華山黄金山神社の神域となっていて、開発の手が入らずに原始性が保たれている大自然の桃源郷です。牡鹿半島の港・鮎川の温泉ホテルに泊まり、翌日金華山の見どころを歩き回ります。一日目は石巻から女川はまテラスで海鮮食堂、大六天山を巡る金華山・牡鹿半島周遊の山旅です。

①石巻駅(10:16着)＝女川＝はまテラス(昼食各自)＝大六天山駐車場(△大六天山往復約2時間30分) おしか御番所公園＝鮎川【ホテルニューさか井泊】②＝鮎川港(船20分)金華山港…黄金山神社…△金華山(…天柱石まで往復)…金華山港(船)鮎川港＝石巻(17:53発)

▽三陸の山旅、以下の2コースもお勧めです。詳細は9月の山旅参照

#### ■十二神森～十二神山、兜明神岳と霞霧ヶ岳 3日間

三陸の山旅その2…三陸に残されたブナ原生林、新緑の季節に

●9月21日(金)発★健脚度：3 ●現地参加料金：¥62,000(盛岡/新花巻)

#### ■遠島岳と遠別岳・安家森、階上岳

三陸の山旅その1…平庭高原の白樺林と新緑のブナ林 ★健脚度：3

●9月24日(月)発 ●現地参加料金：¥62,000(盛岡駅/八戸)



◆6月新緑の山旅：あと1コースのみ・もうすぐ締め切りです！

6月の山旅は23日発<新緑の八甲山と南八甲田・八幡平4日間>の1本のみ。3名で実施、残席3ありますが、今からでは間に合わないでしょうか。ただし部屋は空きがあるので女性なら1-2名ならOKです。これまで秋に歩いた人も、新緑の八甲田は全く違う魅力がありますので、ご希望の人は大大至急ご連絡下さい。締め切りは6月22日(金)です！

◆新緑の八甲山周遊と南八甲田、八幡平、安比ブナ林

八甲山を新緑と花の季節に。赤沼～鶯の森、八幡平長沼、安比ブナ

6月23日(土)発4日間 ★健脚度：3

●現地参加料金：¥78,000(新青森駅集合、盛岡駅解散)

これまで紅葉の季節に訪れていた八甲山を、新緑と花の季節に再訪。南八甲田唯一のブナ原生林・赤沼のブナ新道、鶯の森、日本一の元気ブナ・森の神～十和田湖北岸道路のブナ原生林ドライブなど、新緑の八甲田周辺を巡ります。八幡平では長沼のブナ原生林、頂上周辺の花を巡る周遊コースを歩き、安比ブナ林と稲庭岳もプラスした、中身の濃い充実した新緑の山旅4日間です。

◆7月の山旅：東北花と温泉の山旅・緊急大募集です！◆

7月北海道の山旅はすでに決定していたく北海道ガーデン巡りと然別の山>がグループメンバーの都合によりキャンセルとなったため、利尻を含むすべての北海道ツアーが中止となりました。残念ですが、来年は早めに予定を立てて、是非とも夏の北海道山旅を実現したいものです。

という訳で今年の7月山旅は以下の2コースのみが実施決定となっております。いずれも多少の残席ありますので、大至急ご検討下さい。また、その前後につながるツアーは2名からでも実施可能、コースの変更やグループ貸切りも可能ですので、お早めに平野ガイドまでご連絡下さい。

◆野反湖カモシカ平と志賀山～まが玉の丘 3日間

ノゾリクスグの大群落と奥志賀の山と原始境・クロベ巨木群を巡る

①7月16日(月)発 ②7月19日(木)発 ★健脚度：2~3

●現地参加料金：¥63,000(飯山駅集合・軽井沢駅解散)

草津温泉の北、六合村にある野反湖は周囲を大自然に囲まれ、遊覧船や観光施設も一切ない静寂の湖。カモシカ平は湖の西側の尾根からさらに西に下った所にある桃源郷で、ノゾリクスグの大群落で埋め尽くされる時期に訪れます。奥志賀の山と原始境も含めた上信越花と大自然の山旅スペシャルです。

①飯山駅(8:19着)＝志賀高原＝信州大学教育園～まが玉の丘コース～クロベ巨木群～勾玉の丘～長池～駐車場(約2時間)＝蓮池【志賀レークホテル泊】②＝硯川口～渋池～△志賀山～△奥志賀山～四十八池～渋池～硯川口(周遊約3時間30分)＝志賀草津高原ルート＝草津【中沢ヴィレッジ泊】③＝野反湖富士見峠～△エビ山～△高沢山～カモシカ平～三壁山～野反湖キャンプ場(約4時間50分)＝草津温泉西の河原露天風呂(入浴休憩各自)＝軽井沢駅(18:06発) \*②4名グループで催行決定、残席2。

①2名から実施可能、ゆったりコース、グループ貸切りも可能です。

逆コース(軽井沢駅集合、飯山駅解散)となります。

◆早池峰山と南本内岳、種山高原と遠野物語 3日間★健脚度：3

●7月22日(日)発 ●現地参加料金：¥62,000(水沢江刺駅集合・北上駅解散)

焼岳のすぐ北に連なる南本内岳は、焼岳に劣らぬ花の名山。登山口までの10㌔の林道を車で乗り入れるので、焼岳よりも楽に歩けます。ハヤチネウススキソウの早池峰山は言わずと知れた高山植物の宝庫。一番楽で花も展望も最高の小田越から往復、宮沢賢治がこよなく愛した種山高原も訪れます。

①水沢江刺駅(9:51着)＝種山高原(物見山、星座の森など散策約1時間)＝遠野(河童淵、続石ほか周辺の見どころ周遊)【ホテルあえりあ遠野泊】②＝小田越～五合目～△早池峰山(往復約5時間)＝南花巻温泉【湯の辻ホテル志戸平泊】③＝錦秋湖＝南本内林道登山口～新倉沢～お花畑～△南本内岳～尾根コース～登山口(約4時間30分)＝北上駅(17:30発)

現在3名で催行決定、残席3あり。早池峰山、南本内岳共に花のベストシーズン。遠野一のホテルで民話、南花巻温泉の志戸平の溪流露天風呂も楽しい東北花と温泉の山旅スペシャルです。

★7月東北は上記2コースのほか、以下の1本のみ募集中です。

◆山形神室岳と不忘山、南蔵王・屏風岳

7月25日(水)発 3日間 ★健脚度：3

●現地参加料金：¥62,000(白石蔵王駅集合・解散)

遠刈田温泉と秋保温泉をベースに、南蔵王の3名山：山形神室山、不忘山、屏風岳を効率的なコース巡りでゆとりを持って歩きます。①白石蔵王(9:04着)＝笹谷峠＝トンガリ山～△山形神室岳(往復約3時間30分)＝遠刈田温泉【かっぱの宿・旅館三治郎泊】②＝不忘山白石登山口～弘法清水～△不忘山(往復約4時間30分)＝秋保温泉【秋保ランドホテル泊】③＝刈田峠～△杉が峰～芝草平～△屏風岳(往復約4時間)＝白石蔵王(18:25発) ⇒2名から実施、グループ貸切りも可能です。希望によっては健脚度2のゆったりコースも可能。日本一のおはぎ本舗・佐一で日本一のおはぎを。

◆9月の山旅：頑張ろう東北・三陸復興国立公園、そして糸魚川も！◆

日本海、津軽・下北半島、三陸の山、巨樹探訪の山旅◆

◆新 樺海新道・白鳥山と糸魚川ジオパーク、ヒスイ峡

北アルプス縦走路最北端の山と日本最大のヒスイの渓流を巡る

①9月14日(金)発 ②9月17日(月) 3日間 ★健脚度：3

●現地参加料金：¥63,000(北陸新幹線糸魚川駅集合・解散)

⇒北アルプス縦走路・樺海新道の最終ピーク・白鳥山を、最短コースで周遊。糸魚川の温泉をベースに、しろ池の森から戸倉山、小滝川ヒスイ峡やヒスイ海岸(ヒスイ石拾い)など糸魚川ジオパークの自然景勝地を巡ります

①糸魚川(10:11着)＝しろ池の森～角間池～△戸倉山(往復約2時間30分)＝糸魚川温泉【ホテル國富アネックス2連泊】②＝親不知＝坂田峠＝山姥ノ洞登山口～山姥ノ洞～△白鳥山～樺海新道～坂田峠(周遊約3時間)＝青梅川ヒスイ峡＝糸魚川温泉【泊】③＝高浪の池＝小滝川ヒスイ峡＝ヒスイ海岸(ヒスイ石拾い)＝能生(カニ横丁で海産物買い物)＝ヒスイ王国(見学買い物30分)＝糸魚川駅(17:00頃着)

◆三陸で見つけた原生林ウォークの理想郷・古の自然道を歩こう ◆

◆十二神森～十二神山、兜明神岳と霞露ヶ岳 3日間

三陸の山旅その2…三陸に残されたブナ原生林、新緑の季節に

●9月21日(金)発★健脚度：3 ●現地参加料金：¥62,000(盛岡/新花巻)

東北のブナ森の中でも、最も原生状態が保たれた十二神の森。今では訪れる人稀な原始の森は知る人ぞ知る大自然の桃源郷です。今回は宮古から1日たっぷり時間をかけて森の入口から十二神山まで、さらにブナ原生林の素晴らしい自然道をじっくりと歩き、静寂に包まれた巨木の森で大自然の気を存分に吸収して、悠久のひと時を過ごします。今ではここを案内できるのは平野ガイドのみ、レベルによって最良のコースを大自然貸切りでご案内します。三陸山田町から太平洋岸に突き出した船越半島の霞露ヶ岳は、内陸の登山口から海へと下る最も楽なコースで歩きます。

①盛岡(10:00集合)＝区界峠＝△兜明神岳(往復約2時間)＝宮古【休暇村陸中宮古2連泊】②＝山田町＝十二神巨木の森～△十二神山(周遊約3時間)＝鉾ヶ崎(日本最東端の岬)＝宮古【泊】③＝神社登山口～△霞露ヶ岳～瀧磯海岸(約3時間)＝遠野＝賢治記念館＝新花巻(17:00頃着)

◆遠島岳と遠別岳・安家森、階上岳

三陸の山旅その1…平庭高原の白樺林と新緑のブナ林 ★健脚度：3

●9月24日(月)発 ●現地参加料金：¥62,000(盛岡駅/八戸)

北上高地北部の山を巡る三陸北部縦断の山旅。嶽大明神の階上岳(はしがみだか)から始まり、遠島山、安家森、平庭高原などを巡ります。巨木のある素晴らしいブナ林と足に優しい自然道の遠島岳は、往復5キロの林道歩きを4駆のノア号でカット、無駄のないゆったり歩きが実現しました。日本一シラカバ林が美しいといわれる平庭高原・平庭山荘2連泊、さらに充実内容のツアーとなりました。北上高地北部の名山、安家森もプラスしました。

①盛岡駅(10:31着)＝早坂高原(シナノ木巨木)＝△安家森(往復約2時間40分)＝平庭高原【平庭山荘泊】②＝遠島山荘～△遠島山(往復約2時間)＝平庭高原駐車場～富士見平(往復約1時間)＝平庭高原【平庭山荘泊】③＝階上岳上部駐車場～△階上岳(往復約3時間)＝種差海岸＝蕪島＝八戸駅(17:50発)

津軽・下北半島大周遊の山旅・復活の大尽山 3日間

大尽山と縫道石山、津軽鋸岳、十三湖・亀ヶ岡縄文遺跡 ★健脚度3

●9月29日(出)発 3日間 ●現地参加料金:¥67,000 (新青森駅集合・解散)

⇒本州最北端の津軽・下北半島。交通不便なこの地域を、平野流コース巡りと小回りのきく四駆のワゴン車で効率よく穴場を周遊します。恐山の御神体・大尽山が久しぶりに復活、津軽海峡を見下ろす奇峰・縫道石山、津軽のヒバの山・鋸岳など、下北の秘湯・薬研温泉、津軽・不老心死温泉をベースに歩きます。①七戸十和田(9:34着)＝大湊＝角達大川目林道登山口…一休地蔵…△大尽山(往復約2時間50分)＝恐山＝薬研温泉【ホテルニュー薬研泊】②＝大間崎＝縫道石山登山口(往復約3時間50分)＝脇野沢(フェリー)＝蟹田＝平館【平館不老心死温泉泊】③＝増泊林道…△鋸岳(往復約2時間)＝竜飛崎＝十三湖・亀ヶ岡縄文遺跡＝新青森(17:44発)

◆10月の山旅・世界一美しい日本の紅葉、錦織り成す東北のブナ原生林◆

栗駒山(秣岳)と栗駒古道・千年クロベ、御駒山

秋の栗駒山と役の行者ゆかりの古道を歩く、日本一のクロベ巨樹 ★健脚度:3

●10月3日(水)発 3日間 ●¥61,000 (一関駅集合、解散)

⇒栗駒山周辺随一のブナ原生林の中を辿る修験の山道・栗駒古道。その奥にひっそりとたたずむ日本最大級のクロベの巨樹(幹周9.5m)を探訪。秋の山旅では、栗駒山の天馬尾根末端部・秣岳から紅葉の美しい上部湿原まで往復します。①くりこま高原(9:59着)＝花山少年自然の家駐車場…△御駒山…林道出合…駐車場(周遊約1時間30分)＝温湯温泉【温湯山荘泊】②＝湯浜温泉登山口…湯浜温泉…小櫓沢…千年クロベ(幹周9m50日本最大級のクロベ、往復約4時間30分)＝須川高原温泉【泊】③＝秣岳登山口…△秣岳…天馬尾根・上部湿原(往復約3時間)＝一関(17:00頃着発)

新白神山地(青森～秋田)と岩木山黒森・巨木の森逍遥 高倉森～巨木の径、岩木山巨木の森、藤里駒ヶ岳・岳岱ブナ原生林を巡る

●10月6日(土)発 4日間 ★健脚度:3

●現地参加料金:¥77,000 (新青森集合・大館能代空港解散)

⇒白岩木山随一のブナ原生林・黒森巨木の森を平野ルートでご案内します。①新青森(9:50着)＝岩木山神社＝岩木山スカイライン＝巨木の森(ブナ原生林逍遥(約1時間)＝相馬村【星の宿ロマンピア泊】②＝津軽峠…△高倉森…マザーツリー(往復約3時間)＝白神ライン＝十二湖【アオーネ白神十二湖泊】③＝十二湖(約1時間)＝ニッ森林道登山口…△ニッ森(往復約1時間30分)＝藤里湯の沢温泉【ホテルゆとりあ藤里泊】④＝黒石沢登山口…藤里温泉…△藤里駒ヶ岳…新道…登山口＝岳岱(ブナ原生林周遊約1時間)＝瓶落峠＝ホテル(入浴休憩)＝大館能代空港(18:05発)

森吉山とノロ川ブナ原生林、竜が森、ブナ三味の山旅

秋の森吉山縦断とノロ川ブナ原生林、竜が森

●10月10日(水)発 3日間 ★健脚度:3

●現地参加料金:¥65,000 (大館能代空港集合・解散)

⇒森吉山荘に2連泊、錦の紅葉の中、ブナ原生林の真っ只中を歩きます。森吉山の北、比内の里山・竜が森のブナ原生林も加えました。①大館能代空港(10:05着)＝森吉野生鳥獣センター…△ノロ川ブナ原生林(周遊約3時間)＝森吉山荘【2連泊】②＝阿仁 Gondola 駅(Gondola)上駅…石森…△森吉山…山人平…ヒバクラ分岐…森吉山山麓高原(約4時間40分)＝森吉山荘【泊】③＝比内＝竜が森比内口…△竜が森(往復約3時間30分)＝大館能代空港(18:05発)

秋の南八甲田・赤沼のブナ原生林と雛岳、奥入瀬ブナ巨木・森の神

八甲田周辺随一のブナ原生林・赤沼の紅葉時期に ★健脚度3

●10月13日(土)発 3日間 ●現地参加料金:¥64,000 (新青森駅集合・解散)

⇒静寂の南八甲田・赤沼を美しい紅葉の時期に訪れます。平野ガイドが見つけた巨木の森ルートを周遊。秘湯・猿倉温泉と薦温泉に各一泊。①新青森(9:50着)＝酸ヶ湯＝仙人橋…△赤沼…巨木の森ルート…仙人橋(約3時間)＝薦温泉(薦の森周遊約3時間)＝猿倉温泉【猿倉元湯泊】②＝帯場岱登山口…小岳分岐…△雛岳(往復約3時間)＝奥入瀬バイパス＝森の神(日本一のブナ巨木、往復20分)＝御鼻部山＝十和田湖北岸紅葉ドライブ＝甲岳台展望台＝大湯温泉【龍門亭千葉旅館泊】③＝

鹿角＝八幡平大沼…大谷地…長沼(往復約2時間20分)＝八幡平頂上＝樹海ライン＝滝沢IC＝盛岡(18:15発)

真屋ブナ原生林と大空の滝・ゆったり紅葉の山旅

真屋岳中腹のブナ原生林とくなめとこラインのブナ林 ★健脚度2

●10月16日(火)発 2日間 ●現地参加料金:¥43,000 (盛岡駅集合・解散)

⇒真屋岳は中腹のブナ原生林～兎平までの銀河高原ホテルでビールと温泉に浸かり、秋のブナ原生林でゆったりと癒されましょう。①盛岡＝真屋岳登山口…真屋ブナ原生林…兎平(往復約2-3時間)＝沢内g銀河高原【沢内銀河高原ホテル泊】②＝くなめとこライン＝大空の滝登山口…ブナ原生林遊歩道…大空の滝展望所(往復約2時間)＝花巻宮沢賢治記念館＝新花巻駅(16:00頃着)

秋の裏磐梯・雄国山と雄子沢&デコ平ブナ原生林

裏磐梯五色沼周辺の原生林と渓谷・紅葉の山旅 ★健脚度:3

●10月18日(木)発 2日間 ●現地参加料金:¥42,000 (会津若松駅集合、解散)

⇒秋の裏磐梯の沼と渓谷、ブナ原生林を巡る秋の山旅。裏磐梯で一番のブナ原生林・デコ平と雄子沢のブナ林を紅葉の時期に訪れます。①会津若松＝裏磐梯五色沼＝デコ平駐車場…ブナ林巨木…百貫清水(往復約2時間10分)＝秋元湖・中津川渓谷探勝路＝裏磐梯【裏磐梯ロイヤルホテル泊】②＝雄子沢登山口…ブナ原生林…△雄国山…雄国沼休憩舎…(雄国沼往復30分)…雄子沢登山口(約3時間30分)＝会津若松駅 ⇒2名から実施、6名までのグループ貸切りも可能です。

奥只見・沼の平ブナ原生林周遊、恵みの森、蒲生岳

ブナ王国只見随一のブナ原生林をベストルートで巡る

●10月20日(土)発 3日間 ★健脚度:3

●現地参加料金:¥62,000 (新白河駅集合、上越新幹線浦佐駅解散)

⇒日本一のブナ密度、只見随一のブナ原生林・沼の平の見どころを、錦秋の季節にじっくりと探訪します。只見一の温泉宿・季の郷ゆらりに2連泊、恵みの森は紅葉の中、沢からブナ尾根を周遊、只見のピラミッドピーク・蒲生岳もプラスした只見秋の山旅スペシャルです。①新白河駅(9:08着)＝新甲子トンネル＝只見・恵みの森(沢コース～尾根コース周遊約3時間)＝只見深沢温泉【季の郷湯らり泊】②＝叶津登山口…山神杉…ブナ原生林・巨木次郎ブナ…小三本沢…沼の平…浅草岳尾根…平石山…山神杉…叶津登山口(約5-6時間)＝深沢温泉【季の郷湯らり泊】③＝蒲生岳登山口(△蒲生岳往復約2時間30分)＝田子倉湖＝六十里越えドライブ＝入広瀬＝浦佐駅(18:48発) ⇒現在4名グループで催行決定、残席2あり。

鍋倉山・巨木の森と天水山ブナの森、カヤノ平ブナ原生林

信越トレイルのブナ林ベストスポットを巡る、紅葉の山旅スペシャル

●10月23日(火)発 3日間 ★健脚度:3

●現地参加料金:¥62,000 (新幹線越後湯沢駅集合、飯山駅解散)

⇒戸狩温泉に2連泊、鍋倉山を⑧入口から巨木の谷～頂上から関田峠、茶屋池の大ブナコース、ブナ原生林が美しい天水山など、紅葉の季節に再訪。①越後湯沢駅(9:08着)＝天水山松之山登山口…△天水山…ブナ尾根(往復約2時間30分)＝戸狩温泉【四季彩の宿かのえ2連泊】②＝鍋倉山登山口…巨木の谷・森太郎…△鍋倉山…関田峠＝茶屋池(大ブナコース周遊約40分)＝戸狩温泉【泊】③＝カヤノ平…ブナ原生林…東コース…北ドブ湿原…西コース…カヤノ平＝馬曲温泉(入浴休憩各自)＝飯山駅(17:00頃着) \*健脚度2のゆったりコースも可能です。

玉原高原ブナ林・鹿又山と尼ガ秀山、玉原湿原周遊

関東で一番近いブナ林、新緑の山旅2日間 ベストコースで

①10月26日(金)発 ②10月28日(日)2日間 ★健脚度:3

●現地参加料金:¥39,000 (上越新幹線上毛高原駅集合・解散)

⇒首都圏から一番近いブナ林・玉原高原を、高原の宿水芭蕉に1泊してゆとりを持って歩きます。新緑の季節とは全く異なる錦絵の世界を歩きます。\*\*\*\*\* ★11月の山旅とニュージーランド大自然ウォークのご案内は次号で★

■コロミコ・トレック連絡先: ☎/ FAX: 045-481-0571

平野携帯: 080-5665-9186 ✉ koromiko2@pop07.odn.ne.